

* * *

東京では、新しい劇場が次々と造られ、ブロードウェイで上演された舞台作品を映画化したものはもちろん、翻訳され、上演される舞台にも、多くの観客が集まる。ツアード本場ブロードウェイのミュージカルを観に行く時代を過ぎ、今年は『コラス・ライン』『四十二番街』『ドリーム・ガールズ』とピックな作品が3つも来日。ミュージカルブームも大爆発の気配。

そんな中で昨年11月帝国劇場で上演され話題を呼んだミュージカル『シカゴ』が、いよいよ4月に梅田コマに登場。日本のミュージカルのトップスター鳳蘭と、宝塚退団後初めての舞台となつた麻実れいの夢の顔合わせとなつたこの公演。日生劇場で『デュエット』を公演中の鳳蘭さんの楽屋にお邪魔して、主演のお二人のミュージカル談義を公演より一足先にお届けいたします。

★ターコが2人殺して、私は1人殺します。



ツレ（鳳蘭）とターコ（麻実れい）の

というお話。ターコは誰を殺したんだっけ？

麻実 私は結婚していないくて、情夫、紐みたいな男と妹を殺す。

鳳 あなたの方が二人殺すのね、私は一人しか殺さないのに(笑)。

麻実 (笑) そうなんです。

鳳 一ヵ月間やつてみてどうだった。

麻実 無我夢中のうちに終わってしまったんですね。また大阪と名古屋と公演させていただけるんで、気持ちも新たに頑張りたいと思っています。

宝塚のどこを探してもない様な役で、引き出しが空っぽだったから、とても恐くて、この『シ

カゴ』を終わってから外の舞台を観るト、やっぱり自然であることが素晴らしい感じました。「女にならなくちゃ」っていう気持ちがきつかったんですね。

でも「女にならなければ」という不自然な気持ちがあるうちは、出てくるものも不自然なんですね。だから今度はお稽古の時に、もう一回そのままでやつてみよう、と思うんです。

鳳 私は宝塚を離れてもう7年。作品も7本目だけれども、何となく、私の場合は役柄が明るい、パンパラバーのアメリ



鳳蘭VS麻実れい

ルやる人です



シカゴ 対談 私達ミュージカ

しんどいし、じやまくさいの。
麻実 何にも作らす声もそのままの声。
それがすごく自然に舞台に入っていく。
対してよかつたと思います。ほんとに
勉強させていただきました。

結果的には、非常に女らしい女ではな
かったので私にとって、外での初めての
役としてよかつたと思います。ほんとに
女っぽい役が来ていたら手も足も出なか
ったのでしょうか。

こういう舞台に立っていて、身体の爪
の先から髪の先まで全身で表現できる。お芝居だけで表
現出来ないエキスが歌であり踊りであり、この肉体で表
現出来るすべてがミュージカルにはあるじゃない。だか
らミュージカルが一番好きね。全部表現出来るから。タ
ーコもそれしか知らないからね。宝塚の人ってみんなそ
うね。歌つて踊つてお芝居することしか知らないから
ね。

麻実 何か一つ欠けても、不安と不自然さがあつて。
鳳 ミュージカルは、役のその色を出すけれども、ショ
ーは自分自身を出せるから、どちらも好き。
麻実 そうですね。宝塚を退めて、第一歩を踏み出して
男の人との共演初めてもでしたけど、ツレちゃんが星組
のトップスターだった頃、私は研三で組子として出させ
ていただいたけど、退団されてから、一緒に、下で演らせていただくとい
う可能性が全くなかつたのが、一緒させて頂ける、というのがまず大きな変化
でした。この二つ以外は、あまり変わら
ない。みんなで一つのものを作つてい
く、という世界です、お客様と舞台の
世界であるし、オフでも相変わらず学生

カ女（笑）みたいな、あまり深く物を考えない、ちょ
と地に近い役柄が多いのね。だから、あんまり役作りつ
てしたことがない。自然に、自然に自分で自分に言い聞
かせているだけれども。台本を読んでもあまりわから
ない。やっていて相手の人の台詞を感じて返していくか
ら台本では役作りをしたことがないね。最近、赤川次郎
がおもしろくて、日に一冊ぐらいい読んでいるけれど、す
ぐ幸せになつたり、すぐ暗くなつたりとか、あまり深刻
じやないのが楽しくてそういうのを読みながらすぐ自分
もその中に入ってしまう。物語に入りやすい単純な性格
が女優に向いているんじゃないから。

麻実 お稽古を観ていたら、本当に自然なんですね。何
もしていないうちに、そのまま入つていっちゃう。ほん
とにびっくりしました。私はもの
すごくあせるんですね。スローセ
ンチで、仕事をやつしていると
にかくあせつちやう。それがツレ
（鳳）ちゃんは静かにそのまま、
スローツと初日を迎える。だか
ら大きな方だなあとと思いました。

鳳 私、嫌いなのね。あせるのが。


ロクシーとベルマです



「流れのままに生きてるのね」鳳蘭さん

鳳 東京の人は、劇場がいっぱいあって、常に何かやっているから目が肥えていらっしゃる。大阪の方が暖かい、私は地元だし。大阪でやっていると優しく包まれて、決して甘いということではなくて、ホッとするとわね。

麻実 東京と大阪ではかなり感じが違いますね。退団後初めてなので、嬉しいです。

鳳 ターコの場合はみんな待っているもんね。東京は、ずいぶん劇場が増えましたね。

鳳 ほんとうに。私達が生きる場所が増えて、よかつたね(笑)、大阪も増えていくと思うけど大阪の人は良い悪いがはつきりしているから、あまりアクセサリーばく劇場見物なんてしまいでしよう。本当に観たいものしか観ないから。そういう意味では厳しい。東京には「日生観たのよ」とか「帝劇行つたの」という所があるからね。「シカゴ」も、またお稽古に入つたら、新しい発見があると思う。

麻実 一枚でもいいから、脱いで自然に演りたいなあと

と思いますね。その一枚が大変ですけれども。「シカゴ」の話が決まってから、毎日のようにダンスをしていたんですけど、精神と肉体が伴なわなくて腰を痛めてしまふけれども、それでも、精神と肉体が伴なわなくて腰を痛めてしまったので今は無理はないで、暇をみつけて動かすようしているんです。

鳳 終わらないから、今年一年は(笑)。

麻実 シカゴが終わったら切ってみようと思つてます。

鳳 終わらないから、今年一年は(笑)。

麻実 趣味と実益というわけではないんですけど、観ることが一番勉強になりますし、観ることが楽しい。いろいろ観ていきたいですね。『デュエット』も拝見しました。

ツレちゃん出づっぱりですね。

鳳 二人芝居だからね。でも「シカゴ」の事考えたら楽ね。私、退めてから初めて。あんなに踊ったの。そうそう踊りの役はない。ミュージカルつていっても主役はそんなに踊らないし。ほんとに息が切れちやつた。

麻実 かなりどころじゃないですね。踊りが各場に入りこんでいるから。外国のショードとかミュージカルは、センターが踊らなくちゃいけないっていうのをつくづく感じました。

★私の「女優姿」観に来て下さい!!



身体いっぱい表現

鳳 私はいつも流れるままに生きているのね。

麻実 それで舞台を観ていると、客席にものすごいパワーが流れるんですね。

鳳 ターコは努力家ね。芯はしっかりと持っているし。

麻実 やらないと出来ないから。

鳳 努力家だとは聞いていたけど、実際に一緒に演って驚きました。スカート買った?

麻実 少しずつ購入しています(笑)

鳳 "スカートはきなさい"って怒ったのよね。

麻実 あの一言ではくようになりましたね。慣れないも

んですよ、スカートって(笑)

鳳 私はスカートよ。私はもう完全な女です(笑)

麻実 私も動かなければ、女らしく見えるようになったんですよ(笑)

鳳 私の女優姿、観に来て下さいって言わなくちゃ(笑)

麻実 ダメなんですよ。まだ女優っていうのが、

鳳 慣れないね、私もまだ慣れないから大丈夫よ(笑)

麻実 ツレちゃんは大女優ですよ。

鳳 私もまだ駄目。恥ずかしい。"女優"って言われたら

"エッ嘘"っていう感じ。

麻実 まだ、ねえ。女にも程遠いから。

鳳 ミュージカル演る人でいいね(笑)

麻実 ツレちゃんの場合は、日本のミュージカルのトップスターですから、大阪に行けることも嬉しいですけれども、いつも自分が出でていない時でも、袖から覗いてみて、客席と一緒に笑っちゃうんですね。また大阪、名古屋とそれが出来るのが嬉しいですね。

鳳 あっけらかんとして殺人をやったりで、物語はすごいですけれども、割と明るくて楽しいミュージカルなので、お暇なら、ではなくて、お暇を作つてぜひ観にいらしてください。



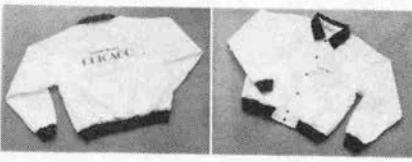
踊ります

「少しでも自然にやりたいですね」と麻美さん

★ミュージカル「シカゴ」読者プレゼント

4月1日(火)～25日(金)まで梅田コマで上演される「シカゴ」の前夜祭、3月31日(月)18時に読者の方5組10名様をご招待。そしてもう1つ。「シカゴ」に合せて作られたスタジアムジャンパー(写真)を1名様にプレゼント。

希望者は、ハガキに住所・氏名・年齢。前夜祭希望またはジャンパー希望と明記の上、神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 月刊 神戸っ子「シカゴ」係へ。3月20日締切。



良いお席は前売でお早目に

鳳蘭、麻実れいのとってもステキなミュージカル！

CHICAGO

東宝ミュージカル特別公演

脚本・フレッド・エップ・ホフ、オフィサー

モーリン・タスバ・カギンの曲「シカゴ」にもとづく
作曲・ショーン・カンター 作詞・フレッド・エップ

演出・振付・トニー・スティーフンス

ホブ・フォックの演出・振付による

東京（帝劇）初演で絶賛

○配役の妙と振り付けのよさで

鳳・麻実・コンビが持ち味発揮。

○何よりすばらしいのはボブ・フォッ
シーの振り付け。華麗にしゃり、
ミカルな官能的なダンスをたっぷ
り魅しませてくれる。

（朝日新聞）

若林 豪



■ママ・モートン
加茂さくら



■エイモス・ハート
小鹿 番



CHICAGO



宝町あかね 森田守恒 新倉まりこ 中丸新将 西田伊公子 宇田憲司 河野恵理 紫城いすみ

4月1日→25日 S8500円・A6000円
B4000円・C2000円
★★★★華麗に絶賛前売中★★★★

B	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
E	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
F	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

電話予約受付中！
06(315)16446 (時間) 10時～5時半

梅田コマ劇場

〒530 大阪市北区角田町5番14号 ☎06(313)3251

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読
¥8,000)

3月号



特集

★うまいもん大阪★

「関西の味・四方山ばなし」 桂米朝
アンケート 「私のすすめる大阪のうまい店」



- ★スターハイライト
- 上方味覚紀行 「順正」

朝丘雪路 楠本憲吉

カルチャーカレンダー / バーティ & シンボジウム / タウン・オジヤーナル / 今月の健康 / 名医に聞く / BOOKレビュー / オンジラクル / 激突 / グリーンライバル / 川柳 / 玄妙禅談 / グループ登場 / 友人交歓 / GOOD LIFE 賛美歌2

パーソナリティ	程一彦	大阪の曲り角	孟	日本の宝との出会い	須田 剃太
佐本進	木津川計	程さんのうんちく料理塾	高橋孟	「信貴山縁起絵巻」	創造の世界
猪野千恵子	高橋孟	大阪の曲り角	杉山平一	関西大学人国記	卷頭インタビュー
竹中功	木津川計	程さんのうんちく料理塾	高橋孟	(法学部)	関大創立100周年記念企画
沖田宣子	高橋孟	大阪の曲り角	杉山平一	日本	



伊勢田史郎
<詩人>安水稔和
<詩人>君本昌久
<詩人>

★収穫多いここ1・2年の詩部門
伊勢田　ここ1・2年の詩の大きな流れ、話題から言えば、去年出版された「兵庫の詩人たち」、昨年の「神戸の詩人たち」、この2冊の詩集があげられると思うので

す。この2冊は、何といっても安水さん、君本さんの2人の力で創り上げた特筆すべき詩集だといえます。特に「兵庫の詩人たち」では、埋もれた我々の先達の、優れた仕事を発掘しており、よく研究した上の、凝縮された各詩人の紹介がなされています。

安水　去年の暮れに現代詩神戸研究会が出版した詩集「神戸市街地図」を合わせて3冊ともが、考えてやろうとしたものでなく、いわば自然に生まれたものです。この

ように何かをまとめると、その後に新しい動きが必ず起ってきます。

君本　ここ1・2年でも、新しい動きというか、ブルーメール賞に値する人物が増えてきました。詩集と作者を順にあげてみると、一

昨年では、竜崎次郎「天眼鏡」、多久和三郎「転々」、今井ふじ子「麦秀の歌」、江口節「江口節詩集」、

伊勢田「ヒト」。他に日本詩人クラブ賞を

■第15回■

月刊神戸っ子ブルーメール賞



《文学部門》
選考座談会

新しいことばをひらく 武田信明に

山口三智「いまもあつたかい石」、田中紀子「沐浴」、渡辺信雄「冬の日の私信」、西谷民五郎「おれたちの説教」、昨年になるとかはらおさむ「調子つぱずれの歌」、海部洋三「干潟の風景」、西垣矩美子「待つ」、正木越彩「星雲の影」、なかけんじ「たまむし色の」、渋谷江美「日々の波紋」、幻太郎「野の鈴」、大塚あき「日米怪談」、静文夫「季節」、宮川守「椅子」、荒木ヒサ子「ねえ神様そう思わないですか」、住吉千代美「巻き貝」、たかとう匡子「危機たちの点描」、福田知子「紅のゆくえ」、武田信明「ロールシャッハの猫」、多久和三郎「虚竜時代」、中浜睦子「聖なる木」、香山雅代「慈童」、山下一也「ミイラになった蝶」、中島好子「メトセラの村」、和田博文「和田博文詩集」、吉田正道「ヒト」。

伊勢田　他に日本詩人クラブ賞をとった中村隆の「詩人の商売」、小

能秀雄賞をとった和田英子の「單線の周辺」、三宅武の「私記列伝」。

安水 三宅武は、確かブルーメー

ル賞をすでに受賞したはずだが、

その後の活躍にも光るものがあ

る。

伊勢田 尼崎在住ではあるが高橋

徹の「生きものたち」、大川ひろ子

の「もういっぽんの鉛筆」もよか

った。

安水 この中からしぶっていけば

女性では、田中のり子と福田知子

がぱっと頭に浮かぶ。

君本 男性でいえば、多久和三郎、

武田信明だね。

安水 それから渡辺信雄。

伊勢田 僕も彼はいいと思う。

安水 ブルーメール賞の性格から

言つても、今あげた5人は有力候
★深まりゆく神戸の“詩”
君本 戦後詩、近代詩、現代詩と
いう分け方があるけれど、今の詩
の定型をさわろうとする息づか
い、定型を超えた大きな型の芽ば

補といえるね。
伊勢田 他では幻太郎「野の鈴」、
たかとう匡子「危機たちの点描」
も印象的だ。
君本 他もさることながら、今回
は、やはり田中のり子、福田知子、
多久和三郎、武田信明、渡辺信雄
の5人にしぶられるだろう。その
中から1人となると、ずっと男性
がつづいてきたけれど、やはり男
性で武田信明を推したいね。
伊勢田 私は、何故詩を書くかの
原点を強く感じる渡辺信雄を推薦
します。

えのようなものが武田信明の詩に

は出ている気がする。清新さがあ

ります。

伊勢田 詩をどうしても書かざる
をえない、そのため血と汗を流

した典型的な形をとる渡辺信雄

に、今という時代だからこそ、賞

を贈りたいという気持ちが強い。

安水 武田、渡辺両氏の名前が出

ているけれど、田中のり子の持つ

詩の質は、今後、抜群になると思

うね。新しい言葉を生み出していく

くという点では、武田か田中。詩

の水準といえば、全く比べようが

ないだけに難しいが、今回は、渡

辺のよさを分った上で、武田信明

の新しい言葉の世界に期待しまし

ょうか。

君本 賛成です。

伊勢田 では武田ということで、
自分が傷ついた中で詩を生み出す

渡辺の仕事も大事にしたいですね

安水 神戸で詩賞をつくる、とい

うのも提案しておきましょう。

△文中敬称略



武田信明女士詩集「ロール・シャッハの猫」

●受賞者メモリアル

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 中村 隆 | 8. 桜井 利枝 |
| <詩> | <小説> |
| 2. 鄭 承博 | 9. 梅村 光明 |
| <小説> | <詩> |
| 3. 小泉八重子 | 10. 吉保 知佐 |
| <短歌> | <小説> |
| 4. 福元 早夫 | 11. 季村 敏夫 |
| <小説> | <詩> |
| 5. 三宅 武 | 12. 福岡 勝利 |
| <詩> | <小説> |
| 6. 秋吉 好 | 13. 時里 二郎 |
| <小説> | <詩> |
| 7. 江頭 越子 | 14. 松尾美恵子 |
| <詩> | <小説> |

●選考委員●



出 谷 啓
<音楽評論家>



小 石 忠 男
<音楽評論家>



柴 田 仁
<音楽評論家>

★新人で光った右近恭子

小石 昨年の前半は朝比奈千足が

まずいですね。出谷 ドンナ・ホールでやつた声

樂の水沢節子。

小石 志賀美津夫、バイオリンの

■第15回■
月刊神戸っ子ブルーメール賞



《音楽部門》
選考座談会

水準高いほんものの 延原武春に

北浦洋子ね。延原武春、添田孝(ピアノ)。長坂ゆき子もあつたね。

山上明美、小林泰助。それから、今井勲子(声楽)、井上和世(声

楽)、ギターの佐野健治。

出谷 井原直子(声楽も宝塚出身)。

小石 右近恭子がベガホール。

出谷 新人でよかったです。

でも前半はバツとしませんな。

小石 青井敬子(ピアノ)、大久保磨里(ピアノ)がザ・シンフォニー・ホールね。

柴田 武谷安子(ピアノ)。田淵幸三(ピアノ)がベガホールだったで

すね。今度は聴いてない。文化祭の最中だったのでね。

小石 小倉直子(ピアノ)。伊丹の岩崎宇紀が十二月に…。そんなどころかな。

柴田 上原まり(琵琶)を聴きま

したが、音楽部門なのかな。

小石 私はLPレコードを聴きましした。芸術祭参加なので長かった。

源平八百年祭か?

小石 田淵幸三、松本幸三の新春コンサート。服がよかつた(笑)

楽しめましたが…。出谷 まあでも皆、これはという決定打にかけるような気がする。

大阪も含めて全般に低調というか印象に残る演奏、光るもののが少ない。だから年間ということになると延原武春などが上ってくる。全

体のクオリティを考えると、水準は高いが、井植文化賞と一緒にいうのはケツタクソ悪いところもあるなあ笑)。

小石 そろそろ出しておかんと。サントリーカ文化賞は、日本テレマ

ン協会に賞が出てその代表だしね。上原まりを考えてもいいね。

伝統音楽に新しい創作を加えてい

るところがいい。

出谷 ぼくは聴いとらんからな。

柴田 源平八〇〇年祭ということ

もありますね。琵琶を弾いていて

きものからサッと白い腕が出たり

するとなかなか色っぽい。(笑)お

しゃべりが上手い。それで唄いだ

こころが面白い。

小石 レコードは力作でしたよ。

柴田 田淵幸三のベガを聴いてない。テープだけ聴いたので面白いことは面白いがどこまで信用できるか判らないでね。

小石、出谷 我々も聴いてない。

ピアノは岩崎宇紀と青井啓子が印象に残った。

出谷 この間のバッハにはミスがあ

りましたね。右近恭子はよかつたね。新人賞ならないけれど。

小石 ベガの演奏は水準高かった

出谷 センスもいい。いかにも新

人の優秀なという感じですね。た

だ延原なんかとくらべると実績が

ね。

小石 上原まりも新鮮でしたから

小・中・高生への無料演奏旅行も五

〇校近くやっているしね。でも、

まあ、これからもチャンスはある。

まだちょっと社会的な広がりを持つ

つという点では少し足りない。

延原も、この辺でそろそろとい

う感じはする。神戸へ引越してき

て七、八年は過ぎている。

柴田 井植文化賞が引っかかるね

バッハ生誕祭に行きましたしね。

バッハ三百年祭と源平八百年祭の

どっちにしよう(笑)、三百年対八

百年やね(笑)『神戸でバッハ』を

というのもやってるし、神戸秋の

芸術祭も、水準が揃っている。

柴田 延原が出来たらどうにも

ならんね。

出谷 でもやっぱり延原でしょう

小石 上原まりのオリジナリティ

も新鮮でしたが……。延原武春の東

京の定期二回と靈南坂教会も水準

以上に良かつたですよ。

小石 それでは今年は延原武春に

決定ですね。△文中敬称略



('60年3月18日東ベルリン／シャウシュビールハウスにて)

●受賞者メモリアル

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 田原 富子 | 8. 坂本 環 | 3. 山内 鈴子 | 10. 松本 幸三 | 13. 末広 三美 | 14. 安芸 葵 |
| <ピアノ> | <声> | <ピアノ> | <声> | <声> | <声> |
| 2. 矢野恵一郎 | 9. 伊藤 幸 | 11. 伊藤 幸 | 12. 井上 幸 | 15. プロデュース | 16. 光一 |
| <合唱指導> | <ピアノ> | <ピアノ> | <声> | 夫 | 栄 |
| 3. 上月 倫子 | 10. 松本 幸 | 12. 井上 幸 | 13. 未広 三 | 14. 安芸 葵 | 15. 光一 |
| <バレエ> | <声> | <声> | <声> | <声> | <声> |
| 4. 今岡 順子 | 11. 伊藤 幸 | 13. 未広 三 | 14. 安芸 葵 | 15. 光一 | 16. 光一 |
| <バレエ> | <声> | <声> | <声> | <声> | <声> |
| 5. 小石 忠男 | 12. 井上 幸 | 14. 安芸 葵 | 15. 光一 | 16. 光一 | 17. 光一 |
| <音楽評論> | <声> | <声> | <声> | <声> | <声> |
| 6. 中村 茂隆 | 13. 未広 三 | 16. 光一 | 17. 光一 | 18. 光一 | 19. 光一 |
| <作曲> | <声> | <声> | <声> | <声> | <声> |
| 7. 関 晴子 | 14. 安芸 葵 | 17. 光一 | 18. 光一 | 19. 光一 | 20. 光一 |
| <ピアノ> | <声> | <声> | <声> | <声> | <声> |



《美術部門》
選考座談会

石川晴久に 生活の孤独感を描く

★今年は前衛抽象派から具象派へ指向転換を

伊藤　これまで、ブルーメール賞の受賞者は前衛意識が強かつた。

新人すべてが前衛ではありませんから、今回は石川晴久のような具

象の正当派を推したい。彼は第2回伊藤廉記念賞展入選を果たしています。

団体では二紀会が活発に動いていますが、その中で滝本周造がよく賞を取っています。しかし、もう一つ飛躍が欲しい。

赤根　でも彼は個展をやつてないでしょう。団体だと田中徳喜も行動美術で頑張っている。

伊藤　賞をもらっていないので、いい機会かもしれない。

赤根　田中美穂もぐんとよくなつた。シティギャラリーで個展をやりましたね。彼女の作品は、同心円的な円が以前より流動的になって日本の色づかいをしている。特に朱の使い方がいいね。今年のアートナウに推薦するつもりです。

どうしても、女性の名前がでてきまね。男性がだらしなくなつた

と思う。

草野　知念正文もガバッているし、松井憲作はシティギャラリーと大阪現代美術センターで個展を開いた。岩見健二は安井賞で最後まで争いましたが結局賞はもらえなかつた。まだ若いですが太田正人がほりかわでやつた個展は感動的でした。鴨居玲さんも感心していました。僕も期待せずにいつたら、物凄く力のある幻想風の具象画でびっくりしました。他に増田正三郎、鶴下葉子がおもしろいと思う

最近の森環もいいし、それに僕も石川晴久を候補にあげたい。

伊藤　女性では、神戸で個展しないかもしれないけれど、京都と姫路で活動している松本京子もいる。アメリカにずっといて、日本へあまり帰つてこないのが残念だ。

赤根　三村逸子もよくやつてます。ユニークですよ。東門グループで



草野 拓郎
<神戸新聞芸芸部>



伊藤 誠
<姫路市立美術館副館長>



赤根 和生
<美術評論家>

は清水淨かな。

草野 山口さとこの砂のシリーズ



第29回新世紀展“遠い海”(1984年作品 S 80号)
石川 晴久作

伊藤
具象の方が歴史が長いので
新しいことをするのはなかなか難
かしいが、新しさで田中徳喜をあ
げたい。

赤根 若さがほしいね。若い点では椿昇だね。

赤根 植松奎二はどうだろう。
伊藤 一、二年神戸で個展してないでしよう。ドイツでの活躍ぶり

★地道に努力を重ねる石川晴久に

しほって選考していきましょう。
伊藤 植松はもう一年まつてもいいね。やっぱり神戸で個展を開い

て、作品を見てほしい。

赤根 海外でも活躍してたらいいと思うけどね。

伊藤 個展では石川が文句ないで
しよう。うろこの館で開いたのは
群を抜いていた。南は残念ながら
個展ではないからね。

草野 写実力がある太田は、まだ
若いので次を期待できる。

伊藤 以前賞を取った人でもいい

なら榎忠だね。彼は凄い。水道筋での個展は誰が見ても『ヤツタネ』という感じがする。彼は実によくやつてます。体当たり的に作品作っているので訴えるパワーが違います。

草野 発想が作品を発表するたびにコロコロ変わる。だから次に何ができるかわかりませんね。

神戸のようにスマートなところでああいう発想がでてくるのがおもしろい。

赤根 彼の作品を壊わさずに、どこか一つにまとめていたら、それだけで十分美術館ができるのに、惜しいですね。

伊藤 ところで、僕はあくまでも石川を推したいね、彼の絵の中に

は人影や生物はでてこないけれど、人の気配を感じさせる絵になるとすごいと思う。

草野 今回のブルーメール賞美術部門は、地道に活動を続ける石川晴久に決定しましょうか。

△文中敬称略▽

- 受賞者メモリアル

1. 山口 牧生	8. 堀尾 貞治
<彫刻>	<造形>
2. 丸本 耕	9. 榎 忠
<造形>	<造形>
3. 小西 保文	10. 松谷 武判
<洋画>	<版画>
4. 藤原 向意	11. 木下佳通代
<版画>	<平面>
5. 斎藤 智	12. 宮崎 豊治
<平面>	<造形>
6. 鄭 相和	13. 藤原 志保
<洋画>	<平面>
7. 山本 文彦	14. 武田 则明
<洋画>	<建築>



《舞台芸術部門》
選考座談会

心の表現が出て来た 松本尚時に

★地力が増しつつある各舞台

名生 昨年度の舞台芸術部門の動きを、演劇から見ていくと、まだ

まだ水準が上がっていない。

学芸会的な色合いがどうしても強

く、ややプロ的な劇団神戸にして

も、ゲストの方が光って見える。

岡田 しかし10月に風月堂ホールでやった「海神別荘」は、あの小屋でよく消化していましたね。

佐野 なかなかの出来でした。演劇で目立ったものといえば、これ

ぐらいでしょう。

岡田 ファンタジック性が少なかつた分、文学性が高まって、芯のある舞台でしたね。

名生 装置も凝っていましたし。ゲストの栗塚旭が特によかった。

岡田 洋舞の方では、貞松・浜田バレエ団が伸びて、団としての動きがまとまってきたようです。

佐野 三十周年の記念公演を10月にやりましたね。

名生 若干、題材の選定に狭さを感じられなくもないですが、全体として良くなってきました。

岡田 クラシックをきっちりと貞松バレエ団なりに振付けてやっていって欲しいですね。関西でも群を

抜いてきてますから。それから11月の舞踊公演では、踊り手として

の藤田佳代がよかったです。

名生 技術は持っていますね。

佐野 太田由利は舞台数が少なくて寂しかった。

名生 宝塚北高校のバレエの非常勤講師として、熱心な指導をしています。

佐野 そういう学校が出来たというのは、一つの灯です。それから加藤さよ子が神戸市民文化奨励賞受賞記念のリサイタルで、『お七』を踊りました。日本舞踊を見ますと、まず松本尚時。形が出来上がってきました。

岡田 大和屋のリサイタル『鉄輪』

『こすのと』あたりは、心の表現が出てきましたね。昨年はものすごく努力をして伸びました。変わつきました。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を製名してもらいたいですね。



●選考委員●



岡田美代



佐野達箕

名生昭雄

<兵庫県立宝塚北高校教頭>

岡田 私のパーティで二月に踊った「お祭り」はこれまでで最高。

名生 彼女も気負わずに、ノッた時はいい踊りをします。

佐野 久田徹二は相変わらず堅実な舞台をやっています。

岡田 名古屋での舞台でしたが、

『安達ヶ原』を現代風の解釈にして、若い人、初めての人にもわかつてもらえるような能を演じてました。

佐野 艶やかな能でした。名生 実力があるだけに安定しています。飛躍の時が来るでしょう。

佐野 ユニバーシアード協賛の邦楽邦舞の会での大和楽社中がよかったです。声が出るようになって

関西で貴重な存在になりましたね。

名生 積み重ねが出てきましたという

岡田 踊りの伴奏ということではなく、邦楽として聞かせる舞台を持ってきたということがいいです。大和楽というのは表現が美しい世界です。

名生 神戸市立博物館での神代初美の演奏もよかったです。

佐野 活躍する場を与えれば、もつと伸びるでしょう。

名生 博物館の『邦楽を楽しむ集い』も、間近で演奏が聴けて、いい企画でしたね。

佐野 照明の林恵介も九月のユニバーシアードの時「傘の内」で傘のシルエットを使って道行きの暗示を、薄墨色でうまく出していました。花柳寿晃が神戸市の文化賞を受賞したのと、若柳吉金吾の師籍二十周年記念舞踊会も、一つのことでしょう。

話題でした。

★努力の成果があがった尚薄に

佐野 ざっと見渡してみると、貞

松・浜田バレエ団、松本尚薄、大和楽社中あたりですか。

名生 貞松・浜田バレエ団は、レ

ベルは落ちないですから、次回も楽しみです。

岡田 団としてのまとまりがあり

ますから盤石ですね。その点、松

本尚薄は、個人で非常に頑張って

きた、その努力に対しても嬉しい

気がします。

名生 昨年一年間よく工夫、努力

して、内容もよくなっていますから

岡田 舞台数も多いですし、大変

だったと思いますけど、努力の成

果を見せて貰いました。大和楽社

中も、基盤が出来たので、これからもっと期待出来ると思います。

佐野 ブルーメール賞という意味

からいつて、個人で頑張っている

松本尚薄に賞をあげて、この賞を

励みにさらに良い舞台をというこ

とにしましょう。△文中敬称略△



60・11・21 大和屋リサイタル『富士太鼓』

●受賞者メモリアル

- | | |
|----------|---------------|
| 1 花柳芳恵一子 | 8 藤井 徳三 |
| <邦舞家> | <能楽師> |
| 2 若柳吉由二 | 9 海野 光子 |
| <邦舞家> | <仮名手庵歌舞伎> |
| 3 吉井 順一 | 10 コメダ・ド・フーゲツ |
| <能楽師> | <演劇> |
| 4 花柳芳五三郎 | 11 加藤きよ子 |
| <邦舞家> | <モダンダンサー> |
| 5 花柳 吉叟 | 12 藤田 佳代 |
| <邦舞家> | <脚説家> |
| 6 藤間緑寿郎 | 13 花柳五三輔 |
| <邦舞家> | <邦舞家> |
| 7 尾上 菊見 | 14 白羽 弥仁 |
| <邦舞家> | <映画監督> |



小泉美喜子
<本誌副編集長>

藤本ハルミ
<デザイナー>

福富芳美
<神戸ドレスメーカー学院々長>

森本泰好
<神戸地下街顧問>

★底力を見せてきた大阪に対しても
神戸は独自性を

小泉 「神戸っ子」も今年で25周年を迎え、ブルーメール賞も15年目、ファッショントレード部門は9回になります。昨年全般にわたっての傾向はいかがでしたでしょうか。

森本 大阪がファッショントレード部門でわたくつて非常に積極的になってきている。神戸のように衣服だけではなく生活そのものをトータルにファッションと見なし、行動しはじめています。神戸もうかうかできませんね。

福富 神戸は、大阪でも京都でもない特異性を持つべきですね。お菓子、洋家具、真珠など、どこにも真似のできない分野で力をつけていきたい。

藤本 確かに神戸は、経済力では大阪にたちうちできませんが、こじんまりとまとまっている街だから色々な業種の人達と交流でき、多

■第15回■

月刊神戸っ子ブルーメール賞



△
選考座談会

K・F・M //

（コウベ・ファッショントレードリリスト）に○

面的にファッショントレードを考えられました。そこが神戸の良さですね。トータルファッショントレードなど実験的なことをやれる街ですよ。

小泉 KFMのシヨーを真珠業界と実験的にアメリカへ持つて行ったはどかとの案もあります。

藤本 真珠業界の人同士の交流も盛んになってきていましたし、また真珠会社と服飾デザイナーといった異質なものが結びつくことで発想がより飛躍しますね。

福富 また上層部だけでなく、実際に自分の手で仕事をしている人達の集りを作つて自由な発想の場をもちたいですね。

森本 神戸市内の総生産高で、鉄鋼部門をおさえ、ファッショントレードの総生産が伸びてきており、ファッショントレードは神戸を支える柱として着実に地を固めつつある。そこで問題になるのが美意識の問題でお客様の方がプロより上回る場合も

出てくる。プロはより以上のものをいつも追求していないと取り残されてしまいますよ。

★盛り上がりを見せるK・F・Mに

藤本 そういう意味で、KFMは今、充実していますね。

小泉 それと、届月堂相談役の吉川冬季子が創った“源氏”的由可里”も見逃せないですね。ただす

でに'85国際産業映画祭で“源氏の由可里”的ビデオが経団連賞B部門三位を受賞してますけれど。

森本 神戸といえば洋菓子のイメージが強いですが、和菓子の存在

を知らしめた点での功績は評価されていいですね。

福富 京都や大阪でもあれだけの和菓子は創れないですね。創る人持つインテリジェンスが加えら

れ、神戸という土地だからこそ出来た創作和菓子ですよ。

小泉 そのほかの候補として、大丸ジバンシーサロンの大西節子が

力をつけていますね。大里最

世子も活躍の場が拡がってきているし、藤井美智子も、昨年10月20日にゴーフルポートピア88でショ

ーを開き、意欲を見せています。

藤本 団体で考えると、KFMは真珠業界の方もやる気一杯で、熱

気がありますね。ショーを見た方

で、あれは、自分の内から出た表現ではないと言う方がいましたが、

与えられたテーマをこなしていく

という事は、すごく実力がつくん

ですよ。ですから六年前に始めた頃に比べて、皆さんぐんぐんレベルアップしてきてます。

福富 確かに、毎回どんなショーカが出来るのかと楽しみにしていますが、ショーをやる側の人達が大きなんですよねえ。

藤本 かなりのパワーがりますね。内から情熱を奮い起こして、燃焼させないと…。いつまで続くかと考える時もあります。

福富 当分、解散せずに頑張ってくださいよ。それと後継者の育成もお互い力を入れたいですね。

小泉 源氏の由可里も、新しい感覚が入った和菓子でファッショニ

性もあり、吉川冬季子の地道な努力も賞に価するところですけれど、ブルーメール賞本来の意味からいうと、これからの一層の活躍が期待されるという未来性を買ってKFMというところですね。

森本 昨年は、レベルが高く、本当に甲乙つけがたいですけれど、KFMが神戸だけでなく世界へ進出していく日を期待し、今回のブルーメール賞はKFMに贈るということで決定ですね。(文末敬称略)



60年10月1日、神戸ポートピアホテル催業の間で行われたK・F・M第5回ファッションショーより

●受賞者メモリアル

1. 藤本ハルミ <服飾デザイナー>
2. 米田 博司 <神戸市心身障害福祉センター>
3. 市野木江充子 <ニットデザイナー>
4. KJTC <コウベジュニアテーラーズクラブ>
5. 太田タマコ <アートフラワー>
6. KFS <コウベファッショソサエティ>
7. 「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクトチーム <パール>
8. 神戸市家具青年部会 <家具>